



2025 年 10 月 10 日

各 位

会社名 株式会社テ・ウエスタン・セラピ・テクス研究所
代表者名 代表取締役社長 日高 有一
(コード番号:4576)
問合せ先 取締役 松原 さや子
TEL 052-218-8785

緑内障治療剤「H-1337」に関する米国眼科学会発表のお知らせ

当社が創製し、緑内障治療剤として開発中の「H-1337」について、米国後期第Ⅱ相臨床試験（以下、「本試験」）結果について、2025 年 10 月 18 日～10 月 20 日に米国で開催される American Academy of Ophthalmology（以下、「AAO」）において、オンデマンドポスター発表をいたしますので、お知らせいたします。

AAO は、世界で権威ある最大級の臨床眼科学会で、32,000 人の医師が会員であり、眼科教育を主導し、眼科医療の発展に寄与していくことを目的として運営されております。AAO は、3 日間にわたって最先端の研究発表、講演が行われます。

<タイトル>

H-1337 kinase inhibitor as topical treatment for glaucoma and ocular hypertension

<要旨>

本試験は、緑内障・高眼圧症患者を対象とした、二重盲検、無作為、用量設定、陽性対照、並行試験です。H-1337 の 3 用量（0.6%：1 日 2 回投与、1.0%：1 日 2 回投与、1.0%：1 日 1 回投与）と対照薬としてチモロール点眼液 0.5%（1 日 2 回投与）について、安全性と眼圧降下効果を評価いたしました

有効性については、H-1337 の 3 つの用量はすべて、統計学的に有意に眼圧を最大 30%低下させ（ $p < 0.001$ ）、これは対照薬であるチモロールと同等の範囲でした。

安全性については、最も頻度の高い有害事象は結膜充血でした。

なお、本試験結果は、2024 年 11 月 18 日公表「緑内障治療剤「H-1337」の米国後期第Ⅱ相臨床試験に関するトップラインデータ結果のお知らせ」のとおりであり、H-1337 は有意な眼圧下降作用及び十分な忍容性があることを示しております。

当社は引き続き、H-1337 の早期上市に向けて取り組んでまいります。

以 上